

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ
第51号
平成22年12月1日
発行
学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ
<http://www.seitoku.jp/>

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園



水に沈んだ「虫に食われていないどんぐり」をポットに植えました

「松戸市減CO2どんぐり大作戦」に参加
園の三歳児が、

二年連続どんぐりキッズ隊出動 「松戸市減CO2どんぐり大作戦」に参加



講演をする野田名誉学長

今年度より附属取手聖徳女子中学校・高等学校は、女子教育では全国初となる教育課程特例校に文部科学大臣から指定され、教育課程に「女性キャリア」を取り

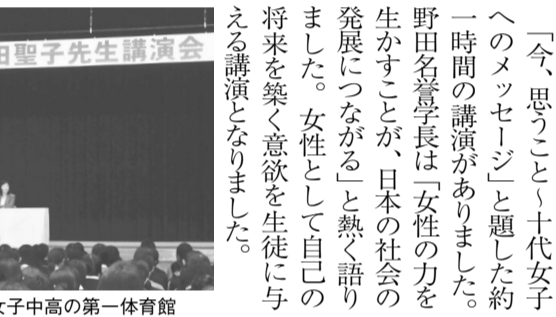
の第一線で活躍し、聖徳大学の第一線で活躍し、聖徳大学名誉学長を務める野田聖子氏を招き、「女性キャリア」プログラムの一環として講演会を取手聖徳女子中高にて開催しました。

「今、思うこと」十代女子へのメッセージ」と題した約一時間の講演がありました。野田名誉学長は「女性の力を生かすことが、日本の社会の発展につながる」と熱く語りました。女性として自己の将来を築く意欲を生徒に与える講演となりました。



講演をする野田名誉学長

入れ、女性の資質と可能性を伸ばし、社会に貢献する意欲を持った、美しくしなやかな女性の育成に取り組んでいきます。



満員となった取手聖徳女子中高の第一体育館

「今、思うこと」十代女子へのメッセージ」と題した約一時間の講演がありました。野田名誉学長は「女性の力を生かすことが、日本の社会の発展につながる」と熱く語りました。女性として自己の将来を築く意欲を生徒に与える講演となりました。

取手聖徳で野田聖子名誉学長が講演 全国初の女子教育プログラム「女性キャリア」の一環

参加者大募集!

第3回 聖徳大学 地域スポーツ ふれあい教室
「ランニングの基礎3
—長距離走を楽しもう!—」
平成23年1月10日(月・祝)開催

お申し込み方法については
3ページに掲載

INDEX

- 学園 1・2
- 大学院・大学・短大 1~4
- 幼児教育専門学校 5
- 附属女子中・高 4・5
- 取手聖徳女子中・高 1・6
- 小学校 6
- 幼稚園 1・6・7
- インフォメーション 8

より豊かな未来に向け ISO認証を更新
聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。
その後も、高品質でより良い教育を可能にするシステムと地球環境を守る管理システムを継続した結果、平成21年2月に認証を更新しました。国際機関の定めた規格を高いレベルで更新したことにより、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を展開します。

ISO 9001
(教育の品質マネジメントシステム)

ISO 14001
(環境マネジメントシステム)

ご意見/ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報紙です。本紙に関するご意見・ご感想を下記サイトにて受け付けております。
<https://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiawase/frmpub>



園児に向けて環境の話をする川並総園長

「緑をたくさん増やして皆さんの住んでいる街や地球をきれいにしておいしい空気にしましょう」

植物を育てる喜びや大切さを学びながら、地球環境への関心を深めることをねらいとして、参加しています。

昨年(平成21年)に続き二年連続、市内の幼稚園としては、唯一の参加となります。このどんぐり大作戦は、五〇万本植樹計画の一環で、地域や学校に「どんぐりキッズ隊」を立ち上げ、どんぐりの実を拾い、ポットに植えて、大きく育てたら定植し、大きく育てて樹木を増やし、二酸化炭素(CO2)を吸収しようという事業です。

「短大総務文化学科が就業力GPに採択
学生の仕事を育成」

文部科学省の平成二十二年「大学生の就業力育成支援事業」(就業力GP)に、短期大学部総合文化学科が申請していた取り組み「実学・実践による女性のコンピテンシーの育成」が採択されました。

短大総務文化学科が就業力GPに採択 学生の仕事を育成

「短大総務文化学科が就業力GPに採択
学生の仕事を育成」

「短大総務文化学科が就業力GPに採択
学生の仕事を育成」



学生の熱気がこもった会場

「短大総務文化学科が就業力GPに採択
学生の仕事を育成」

「短大総務文化学科が就業力GPに採択
学生の仕事を育成」

「短大総務文化学科が就業力GPに採択
学生の仕事を育成」

「短大総務文化学科が就業力GPに採択
学生の仕事を育成」

「短大総務文化学科が就業力GPに採択
学生の仕事を育成」

学園とともに歩んで七十七年

「川並弘昭先生・知子先生ご夫妻を祝う会」開催

「川並弘昭先生・知子先生ご夫妻を祝う会」が、十月三十日(土)、グラントプリンスホテル新高輪・国際館パミールにおいて、五百人を超える方々にご出席いただき盛大に開催されました。



壇上でほほ笑む川並ご夫妻

この会は、川並知子附属幼稚園総園長、第二幼稚園・第三幼稚園浦安幼稚園園長、短期大学部保育科教授の「瑞宝小綬章受章」(平成二十二年春の叙勲)および「私立学校審議会委員功労者文部科学大臣表彰」ならびに、川並弘昭理事長・学園長の「喜寿」の祝賀会として催されました。川並理事長・学園長の生誕は、学園の創立年と同じ一九三三年(昭和八年)で、学園の歴史

研究所リレー連載

所長の伝言板(第四回 聖徳大学心理教育相談所)

所長 末永清 教授

「うつ」の時代と相談所

景気が回復せず、列島全体が先の見えない閉塞感に覆われているせいでしょうか。人々は何となくメランコリーな気分になり、自殺する人が毎年三万人以上いるそうです。また、職場で仕事に強い不安やストレスを感じている人が、六割以上あるとの報告もあります。

そこで、悩みの相談を看板に掲げる心理教育相談所としては、少しでも社会に貢献できればと考え、「うつ」

をテーマに講演会を開催しました。講師は、慶應義塾大学保健管理センターの大野裕教授で、うつ病治療の第一人者です。七月十七日(土)、大学十号館



講演会「悩みを活かす生き方」の様子

に「聖徳大学をご存じでしたか?」と問いかけたところ、ほぼ全員の手が挙がりました。ところが、「心理教育相談所は?」という問いには、

「心理教育相談所は?」という問いには、



相談時間 月～金 10:00～17:00
土 10:00～15:00
TEL. 047-308-3887



心理教育相談所

当相談所は、地域の人々に開かれた心の相談所です。子どもから大人まで年齢にかかわらず、さまざまな心の相談に応じます。充実した設備と信頼できる優しいスタッフをお迎えします。

パラパラとしか手が挙がりません。相談所の知名度の低さに愕然としました。当日の二百二十九名の参加者にはしっかり記憶されたいと思っております。



高橋博子 短期大学部 保育科教授



つるしいん 四十九院 静子 短期大学部 総合文化学科学教授

短期大学教育功労者表彰
長年にわたり短期大学教育の発展に多大な貢献をされ、日本私立短期大学協会創立六十周年記念式典において、「短期大学教育功労者表彰」を受けられました。

「蕪村全集」が文部科学大臣賞授賞著書に
編集委員を務める研究書「蕪村全集」講談社・全九巻が、財団法人芭蕉翁顕彰会・伊賀市共催の平成二十二年(第六十四回)芭蕉祭俳諧俳文学部門において、「文部科学大臣賞」を受けられました。



中野沙恵 人文学部日本文化学科学教授 大学川並記念図書館館長

栄養改善関係功労者知事表彰
多年にわたり栄養士の養成に貢献をされ、平成二十二年(第百九十七回)善大会において、「栄養改善関係功労者知事表彰」を受けられました。



関澤文 人間栄養学部 人間栄養学准教授

私立学校審議会委員功労者文部科学大臣表彰
長年にわたり私学の振興と発展に多大な貢献をされ、全国私立学校審議会連合会創立六十周年記念式典において、「私立学校審議会委員功労者文部科学大臣表彰」を受けられました。



川並知子 附属幼稚園総園長、附属第二幼稚園・附属第三幼稚園・附属浦安幼稚園園長 短期大学部保育科教授

平成二十二年秋の叙勲受章者
瑞宝中綬章 (法務行政事務功労)
「平成二十二年秋の叙勲受章者」が発表され、本学より末永清教授が受章されました。



末永清 人文学部心理学科教授 心理教育相談所所長

聖徳の心つながる支部パーティー全国で元気に開催!
秋は、香和会支部パーティーの季節です。全国七支部のパーティーは、九月十九日(日)に新潟、十月十日(日)に仙台、十一月十三日(土)に沖縄、十一月二十八日(日)に聖徳大学、十一月十四日(土)に京都、十二月十二日(日)に大宮と、六カ所の開催となっています。今年、十一月二十八日(日)に南関東支部と甲州・中部・東海支部の合同開催という試みで、大学一号館リユニティホールにてぎやかに開催しました。今回は、すでに開催された二支部のパーティーを紹介し、北陸・上信越支部パーティーが九月十九日(日)に新潟駅前チサンホテルで開催されました。



北海道・東北支部パーティーにて

十月十日(日)には、仙台の奥座敷の秋保温泉「瑞鳳」で、北海道・東北支部パーティーが開催されました。後輩の活躍と大学の発展をDVDで鑑賞し、涙を浮かべる卒業生もいました。自己紹介では、夫の転勤で仙台に来ることになり、県立図書館司書として四十代で再就職した加藤由美子さん(昭和六十年、短大・国文学卒)、宮城県の母校短大の評議員として活躍している馬場ゆふ子さん(昭和四十五年、短大専攻科(保育専攻)修了)等、皆さん聖徳卒業生として大活躍でした。

皆さんもぜひご参加ください。お待ちしております。香和会会長 長江曜子

聖徳大学大学院 教職大学院ニュース 第11回
連携協力校(園)の紹介 Vol.8
前回は引き続き、教職研究科の学生が総合実習の授業において、学校経営や教育活動を総合的に体験する連携協力園を紹介します。

- 新宿区立あいじつ子ども園 (認定こども園) 園長: 小島 喜代美
所在地: 東京都新宿区北町17 Tel: 03-3266-0189
● 乳幼児の生活の流れと発達や学びの連続性を大切にしている
● 隣接する愛日小学校との連携・交流・接続を図っている
● 地域行事への参加や施設訪問など、さまざまな人とのかかわりを大切にしている
● 教職員数(幼稚園教諭・保育士) 25人 ● 学級数 8 ● 園児数 173人
- 台東区ことぶきこども園 (認定こども園) 園長: 高橋 海有
所在地: 東京都台東区寿1-10-9 Tel: 03-3841-4719
● 就学前の0~5歳児までの一貫した幼児教育、保育を行う認定こども園
● 同じ施設内の寿子ども家庭支援センターと連携している
● 公設民営
● 教職員数(幼稚園教諭・保育士) 39人 ● 学級数 9 ● 園児数 175人
- 浦安市立北部幼稚園 園長: 中里 恵美子
所在地: 千葉県浦安市北栄3-20-2 Tel: 047-351-3010
● 体験学習を中心に、遊びを通して友達とかかわる
● 飼育栽培活動(一人一鉢栽培)を行っている
● 未就園児保育・預かり保育を行っている ● 教員数 9人 ● 学級数 4 ● 園児数 119人
- 学校法人 武蔵野学園 武蔵野東第二幼稚園 園長: 加藤 篤彦
所在地: 東京都武蔵野市関前3-37-10 Tel: 0422-53-4367
● 自閉症児と健常児との「混合教育」
● 自閉症児の社会自立に向けた一貫教育
● 教員数 30人 ● 学級数 14 ● 園児数 353人

大杉が行く! シリーズ No.6

第2回聖徳大学地域スポーツふれあい教室 「ランニングの基礎2ー長距離走を楽しもう!!」

九月十八日(土)、「第二回聖徳大学地域スポーツふれあい教室(後援)松戸市教育委員会、松戸商工会議所/協賛企業(株)JCNコアラ葛飾シダックスフードサービス(株)、利根コカ・コーラボトリング(株)、山崎製パン(株)」が、聖徳大学附属小学校グラウンドで開催されました。第一回は、今年三月に小学校高学年を対象に行われましたが、今回は一般市民ランナーが対象。指導は、前回同様、大学院教職研究科・百瀬定雄准教授(トリノ・バンクーバーオリンピック リュージュ競技監督)、人間栄養学科二年在籍の高橋千恵美さん(シドニーオリンピック 陸上女子一万メートル代表)、聖徳アスレチック同好会、体育研究室が務めました。もちろん今回も大杉が体験しました。

① 灼熱のランニング宣言

「これから始めようとする初心者から市民大会参加を目指すランナーまで、家に帰っても使えるトレーニング法を伝授します」と百瀬先生、「まだまだ暑さがありますが、とにかく楽しんでやってみよう」と高橋さん。開会式では、おなじみの二人の気合のこもった大きな声がありました。

② フォームを学ぶ

まず、高橋さんをモデルとして、長距離を走る際に用いる身体部位を中心としたストレッチを確認しました。



指導する百瀬准教授(右)と高橋さん(左)

次にランニングフォームをチェック。つま先・かかと・ひざの振りあげ歩きのエクササイズで、背筋をまっすぐに伸ばし、腕を振り、足裏真下に体重の重心があることを意識しました。重心をいかにスムーズに前方へ移動させるかを意識することが初心者のこ

③ ペースを学ぶ

いよいよ、メインのペースランニングです。1000mを気持ちよく走れる(走り続けることのできる)ペースを計測し、換算表に記入し、長距離でのタイムを算出します。



100mのタイムを換算表に記入します

換算表で算出したタイムで完走できませんでした。自分の身体能力を把握するのは案外難しいものだと痛感しました。

④ いざ、出走



職員の間で無事完走した筆者(左より3人目)

これが、日ごろのランニングのペースの目標となります。そして、1000mのペースを元に、グラウンドを二十周(20分間走)するペースランニングに挑戦。私は、1000mを早く走り過ぎたせいか、

最後は、四人での長距離リレー。普段、歩くことすら機械に頼ることが多い中で、「走る」という実感を呼び起こされた気がしました。大量の汗をかき、当たる風がとても心地よく、心のストレッチもできた一日となりました。

千葉の郷土料理学ぶ

十月十五日(金)、二十一日(金)の両日、聖徳大学短期大学部食に関する講演会「千葉県の郷土料理を学ぶー太巻き祝いずしを中心ー」(社団法人日本フードスペシヤリスト協会共催を、聖徳大学生涯学習社会貢献センター(大学十号館)において実施しました。講師は、千葉県伝統郷土料理研究会主幹の龍崎英子先生です。

一回目は、代表的な伝統郷土料理である「太巻き祝いずし」が、房総の農家で冠婚葬祭や節供等の大切な行事には欠かせない料理として、各家庭に継承されて



桃の花の文様の太巻き祝いずし

きた地理的歴史的背景についての講演を行いました。二回目は、キッチンスタジオで実習をしました。太巻き祝いずしは、普通の巻きずしとは異なり、切り口に文字や絵が出てくるのが特徴です。受講生は講師の

熱心な指導のもとに、「巻きずし」をすり合わせて作る基本的な「桃の花」等の文様に挑戦しました。受講者からは、できあがった花びらのほかしの美しさを見て、「食べるのがもったいない」という声も聞かれました。

なお、聖徳大学オープンアカデミー(SOA)では、龍崎先生が講師を務める一般の方を対象にした「楽しく作る太巻き祭りずし」を開講しています。関心のある方は左記へお問い合わせください。

●お問い合わせ先
聖徳大学生涯学習課
〇四七二二六五二二六〇一
(直通)

参加者大募集!

第3回聖徳大学地域スポーツふれあい教室 「ランニングの基礎3ー長距離走を楽しもう!!」

●指導スタッフ
百瀬 定雄 (聖徳大学大学院教職研究科准教授)
トリノ・バンクーバーオリンピック リュージュ日本代表監督
高橋 千恵美 (聖徳大学人文学部人間栄養学科在学中)
シドニーオリンピック 陸上女子一万メートル日本代表
聖徳アスレチック同好会

●日時 平成23年1月10日(月・祝) 午後1時~3時
●会場 聖徳大学附属女子中学校・高等学校グラウンド (松戸市秋山600、駐車場有り)
[雨天時は、聖徳大学附属小学校体育館で実施]
●実施内容 ①準備運動・ストレッチの重要性②正しいランニングフォーム
③さまざまなペースランニング 等
●対象 一般市民ランナー(初心者)
●募集人数 50名 ●参加費 1,000円
●申し込み方法 メールあるいは往復はがきに「聖徳大学 地域スポーツふれあい教室 参加希望」と明記し、①氏名、②年齢、③住所、④電話番号、⑤E-mailアドレス、⑥緊急連絡先(ご家族の方のお名前及び電話番号)をご記入の上、下記までお申し込み下さい。
●申し込み/お問い合わせ先 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 聖徳大学 体育研究室
「聖徳大学 地域スポーツふれあい教室」係
Eメール: taiiku@seitoku.ac.jp
電話: 047-365-1111(大代) 申込締切: 12月25日(土)

研究成果を掲示したパネル

また、松戸駅前商店街と協力して地元特産品を販売

作ってみよう! 包(パオ)

材料:(1人分)
●強力粉:30g、ドライイースト:1g、砂糖:4.5g、仕込み水(42~43℃):19~20cc
●小麦粉(薄力粉):20g、ベーキングパウダー:1.3g、塩:0.4g、仕込み水(42~43℃):10~11cc
●ラード:3g

作り方 [1] ボールに強力粉・ドライイースト・砂糖を入れ、仕込み水をイーストを目がけて一気に加え、木ベラで混ぜる。
[2] ほばまとまってきたら、台に移し、手でこねる。
[3] 表面がなめらかになったら、生地を丸めて、縦目を下にして、ボールに入れ、ラップをかけ、40℃程のお湯で20分位発酵させる(生地が1.5倍になれば発酵完了)。
[4] 発酵した生地の上から薄力粉をふるい入れ、ベーキングパウダー・塩を加え、水を入れ、木ベラでさらに混ぜる。
[5] 全体がほば混ざったら、台に取り出し、均一に手でこねる。
[6] ラードを加え、全体になじんだら、一個ずつ成形する。
[7] 40℃10分位で生地を1.5倍位に発酵させ、蒸器で強火10分蒸す。

第46回 聖徳祭

聖徳大学・聖徳大学短期大学部

咲かせようなでこの華

十一月六日(土)・七日(日)に第四十六回聖徳祭が行われました。

毎年恒例の栄養士のためごたちによる数量限定ランチやケーキ販売などの学生企画、普段の授業での研究成果や海外研修レポートのプレゼンテーション、クラブ・同好会の部員が丸とんぼ作りあげた野外ステージ発表など、今年度のテーマ「咲かせようなでこの華」の通り、両日ともに松戸キャンパスは華やかな雰囲気になりました。

また、松戸駅前商店街と協力して地元特産品を販売

人間栄養学部の学生が調理した限定ランチを販売

人間栄養学部人間栄養学科の学生が出演するレストラン「キッチンソルト」では、栄養士のためごたちが作った限定ランチが、今年も登場しました。ランチは、「秋の味覚満喫御膳」「秋のにぎわい御膳」「秋のほかほか煮込みハンバーグ・ランチ」「パオ定食」「星の王子様プレート」があり、どれも好評でした。今回はそれらの中から、パオ定食の「包(パオ)」のレシピを紹介します。

「パオ」は、肉の角煮をほかほか食べるなど、食が楽しくなる一品です。

学生と職員がバレーボール「SEITOKU CUP」で真剣勝負

生涯教育文化学科の学生が「松戸まつり」で活躍

十月二日(土)、三日(日)の二日間、第三十七回松戸まつりが開催され、聖徳大学生涯学習研究所が参加し、人文学部生涯教育文化学科の学生がスタッフとして活躍しました。

生涯学習研究所は、地元松戸の地域振興への参画と、学生と地域住民との交流についての研究に焦点を当て、平成十七年度から運営に参加しています。今年も、イベント広場の運営補助や音楽ステージのプロデュース、大学十号館(聖徳大学生涯学習社会貢献センター)の二階ギャラリーを利用した事業を企画・実施しました。



「つくってあそぼう」で子どもに折り紙を教える学生スタッフ

複数のイベントをサポート

大学十号館では、子どもを対象としたワークショップ「つくってあそぼう」を実施し、両日で三百名以上が来場しました。ここでは、

学生がパウチカードのしおり作り、ハロウィンや秋をテーマにした折り紙体験、さかなつりゲームなどの運営を行いました。あわせて、子どもたちが独自の通貨を媒介におもちゃを交換するアートプロジェクト「かえっこバザール」も実施し、保護者からは、定期的開催してほしいという声が多く聞かれました。

伊勢丹通りを会場にした「キッズスクエア」でも、学生が遊具の運営や誘導などのサポートをしました。

地域交流で成長する学生たち キッズスクエアの学生スタッフ・前田夕佳さん(一年)は、「子どもの目線を考慮して、配置を工夫した」、つくってあそぼうの学生スタッフ・谷由美子さん(三年)は、「おもちゃを



「キッズスクエア」ではびびを着て遊具の運営にあたる学生スタッフ

学生の海外研修レポート

児童学部では、三年次に海外研修としてヨーロッパを訪問します。今年の十月四日(月)から十月十三日(水)に実施された研修に参加した勝見愛湖さんの報告を紹介します。

児童学科幼稚園教員養成コース三年 勝見愛湖



国が違って心は共通

私たちの感動は、飛行機の中から始まりました。離陸と同時に海外研修への期待で胸が高鳴りました。着陸のために高度が低くなり、ドイツの街並みが見え始めたころ、「わー、きれい」「かわいい」といった声が上がります。現地に到着してからの移動中のバス内でも、ヨーロッパの歴史を感じさせる建造物と街並みにただ感動するばかりでした。

幼稚園教員養成コース 日本とは違うと感じるもの

は、ドイツ・チェコ・オーストリアの三か国を旅します。海外研修では、幼稚園の創設者であるフレデリックの博物館など幼児教育に関する各所をはじめ、音楽家バッハの生家、世界遺産の古都であるチェスキークルムロフなど、各国の歴史的な場所を見学しました。

また、それぞれの国で幼稚園見学をさせていただいたのですが、園舎の形や、遊具、園内の雰囲気など、日本とは違うと感じるもの

があり、たくさんさんの刺激を受けました。言葉でのふれあいがないので、ボディーランゲージがほとんどでしたが、実際に子どもとふれあうこともできました。追いかけると、子どもたちは喜んで逃げていき、いつの間にか追いかけてこなくなっていました。「子どもとかかわるのに言葉はいらぬ」「国が違って子どもたちの心は共通している」ということを感じた瞬間です。

ヨーロッパの幼児教育を見学したり、文化や歴史を感じて、日本と比較したり、現地の方々と交流を楽しんだり。これらは日本にはできなかったことです。海外研修に参加したことで、日



ウィーンのシェーンブルン宮殿にて(前列、左より5人目が勝見さん)

アメリカ留学中の学生からの手紙

聖徳大学学長 川並弘昭先生 拝啓

秋の候、学長先生におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。私はただ今留学中の外国語学科二年、松田みゆきと申します。

九月十八日に成田をたちまして、PSUに留学して約一カ月が経ちました。まだ慣れないことが多く、起きてから寝るまで全てが英語の生活に戸惑っています。PSUのイベントなどに参加するうちにアメリカでの生活が楽しく有

意義なものになってきました。授業は日本とは異なり、一つの授業時間が長く、宿題がたくさん出されます。授業内でクラスメイトとディスカッションすることが多く、自分の言いたいことが上手に伝わらず苦労しますが、とても勉強になります。

まだ留学生活は始まったばかりですが、日本に帰るまでにたくさん経験をしたいと思っています。最後に、サポートしてくださっている聖徳大学の皆さまのおかげだと思っております。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。今後ともご指導のほどお願い申し上げます。まずは書面をもちましてご挨拶申し上げます。

敬具 平成二十二年十月 松田みゆき

聖徳大学学長 川並弘昭先生 拝啓

カピオラニ・コミュニティ・カレッジに今夏から留学中の外国語学科二年、村松さつきと申します。

こちらはまだまだ暑さが続いています。過ごしやす日々です。学長先生におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。八月十四日に成田をたち、期待と不安を抱きながらハワイ州ホノルルに到着いたしました。早いもので一カ月が過ぎました。日々新たな経験をしながら、日々充実しております。

こちらの授業の形式は今まで経験してきたものとは大きく違い戸惑いを感じることも多々ありますが、新たな経験ができていることを、とてもうれしく思っております。この喜びを糧により一層勉学に励みたいと思っております。生活面においては、独自の文化を体験しつつ親切なホームステイ先の方々の交流を楽しんでおります。

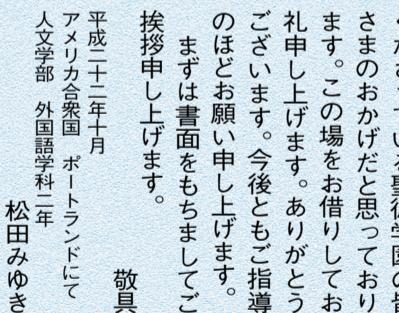
敬具

平成二十二年九月 村松さつき

敬具



松田さんお気に入りの一枚「PSUの風景」



村松さんお気に入りの一枚「大学にかかる虹」

爽和会 附属中高同窓会

「フラワーアレンジメント&押し花」体験講座&「守れ!動物展」

附属女子中学校・高等学校の同窓会である「爽和会」は、十月十日(日)、附属中の第二十八回聖徳祭において、毎年恒例の「フラワーアレンジメント&押し花体験講座」と「守れ!動物展」の展示を行いました。生徒を含め、どちらも多くの来場者がありました。

体験講座では、「とても楽しかった。来年は、この



体験講座で思い思いの作品をつくる来場者たち



動物の写真が並ぶ「守れ!動物展」の展示

されているという現状を、たくさんの方に伝えました。爽和会の活動は、まだまだ活性化されていない面も

ありますが、小さな活動を積み重ねてきており、今後、大きく発展することが期待されます。

幼児教育専門学校

保育現場に立つ日に 生かされる経験を

三田幼稚園・専門学校合同運動会

十月三日(日)、聖徳学園三田幼稚園との合同運動会が東京都港区の芝公園のグラウンドで行われ、専門学校からI部一年生とII部一年生が参加しました。予報では雨が心配されましたが、園児・学生の願いが通じ、心地よい秋晴れの中で運動会を実施することができました。

専門学校は競技と運営進行係の両方に参加

最後の片付けまでの運営・進行も実際に経験しました。競技進行の方法、会場の見回りや、園児とのかかわり合いなどを、園児・教師の姿を直接見ながら、運動会がどのように実施されているかを学びました。学生からは、長い一日を終え、「疲れたあ」という声も聞かれましたが、笑顔で運動会の話をしていく姿が、充実した一日であったことを物語っていました。

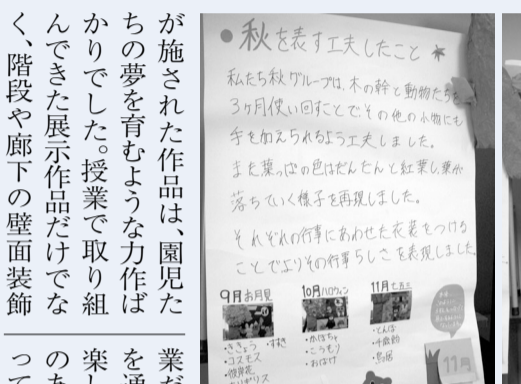


園児や保護者の方の声援を背に奮闘する学生たち

I部生は二年後、II部生は三年後には、保育現場で先生として運営進行を担っていきます。その時に、この日の経験が生かされます。



十一月三日(水・祝)、聖徳学園三田幼稚園と合同の「聖徳にこにこまつり」が開催されました。当日は晴天に恵まれ、元気な園児や笑顔の学生、卒園児、卒業生、多くの来場者でにぎわいました。



作品の工夫点を解説した掲示

教室を園児たちの遊び空間に変えた「あそびコーナー」では、紙粘土で手作りお菓子を作ったり、工夫が凝らされたダンボール迷路を楽しんだりする子どもたちの笑い声が響きました。また、人形劇やパネルシアターの発表では、児童文化の授業で学んだ成果を大いに発揮しました。ここでは、園児たちを前にしての実際の演じ方には「臨機応変の工夫が必要」ということを学びました。さらに、手作りおもちゃや紙遊びの作品、四季折々のアイデア



四季折々のアイデアが施された作品

や学生手作りのポスターは、オープンキャンパスを訪れる方や未就園児の保護者の方々にも好評でした。さまざまな授業を通して着々と準備を進め、前日は園児たちの喜ぶ姿を想像しながら、夜遅くまで校舎の飾りつけなどを各クラスで分担し、学生全員が協力して行いました。当日は、園児たちの楽しむ姿を見て、学生たちも自然と笑顔が溢れるという大変よい経験をする事ができました。専門学校の学生たちは、授

業だけでなく、実際の行事を通して園児たちと一緒に楽しむ、一緒に成長し、実力のあるすてきな保育者に育っていきます。

附属女子中学校・高等学校

関東大会で金賞受賞 全国大会へマーチングバンド・バトントワリング

第二十八回聖徳祭



熱演するバトン部の生徒たち

十月三十日(土)にくまがやドーム(バトン)、十一月十三日(土)にさいたまスーパーアリーナ(マーチングバンド)にて、「第四十五回マーチングバンド・バトントワリング関東大会」が行われ、附属女子高等学校は、高校部門において両部共に金賞を受賞し、全国大会出場の切符を勝ち取りました。

今シーズンの演技タイトルは、「ライヴフォー・フロムアバター」(マーチングバンド)



映画の世界観を表現するマーチングバンド部の生徒たち

の旋律に乗り、美しく舞い、マーチングバンド部は、映画「アバター」の世界を迫力ある演奏で、自然との共存、異文化との共存をメッセージとして伝え、力強い演技を披露しました。

現在は、全国大会に向けて、さらなる演技の充実を目指し、日々練習に取り組んでいます。今後、も内外において、「聖徳の女子パワー」を存分に発揮し、アピールしていきたいと部員一同はりまっています。機会がありましたら、生徒たちの努力の成果をぜひご覧ください。

女子高のアピールを テーマにこめて

第二十八回聖徳祭

第二十八回の附属女子中学校・高等学校の聖徳祭が、十月九日(土)・十日(日)に開催されました。四月の校名変更で「女子」という言葉が加わったことから、「何か女子校を、そして『女子だけの集団でもこれだけできる』ということをアピールしたい」と考えた結果、今年度の聖徳祭は、「無限大・未来に向けての可能性の追求」をテーマとしました。

聖徳祭の経験を大きなステップとして、未来の可能性を見出し、さらなる飛躍ができるようにという願いを込めて、各団体が発表に取り組みました。昨年の聖徳祭



多くの来場者でにぎわう管弦楽部の発表会場

は、新型インフルエンザの流行、さらに、準備期間に台風が襲われるなどアクシデントが続いたため、今年度はその反省のもとに、各団体が夏休みを有効に使って準備をさせていただきました。来場者を最初に迎える校門のアーチは、高校二年生が無制限の記号を散りばめ、「秋」をモチーフに作成しました。

一日目のオープニングセレモニーの後、中学生は英語劇コンテスト、高校生は校内公開を行いました。

附属校の実力発見！

英検準一級 取得者3名

高校三年の阿部桃子さんがTOEICで915のスコアをマークしたのを筆頭に、英検準一級取得者が阿部さんを含め三名います。英語検定は今や大学受験の出願要件にもなっています。附属女子中高では、高校卒業時に準二級取得を目標に掲げ、生徒たちは合格を目指し、日々英語力の向上に励んでいます。

● 2級合格者 5名 (うち高校2年3名、高校3年2名)

第一回実用英語技能検定 (平成二十二年七月実施)

取手聖徳女子中学校・高等学校

音楽のフルコースで聴衆を魅了

音楽科・音楽コース

第二十三回 定期演奏会

九月十八日(土)、茨城県牛久市中央生涯学習センター文化ホールにおいて、高等学校音楽科および中学校音楽コースの第二十三回定期演奏会が開催されました。茨城県つくば市のノバホールで開催された第一回

定期演奏会から数えて二十三年目、四半世紀が近づき、脈々と受け継がれてきた音楽に取り組み生徒たちの熱意が、今年もステージを作りあげました。

第一部第二部では、一学期末に実施された独奏・独唱者選抜のオーディションに合格した二十一名が、独唱・独奏・作品発表を披露しました。中高校生の演奏なので未熟な部分が多いとはいえ、翌月実施されたコンクールで全国大会出場を決めた生徒の演奏等もあり、聞き応えのあるステージが繰り広げられました。

第三部では、中三音楽コースと高校音楽科生徒全員による女声合唱によりフォーレとシューマンの作品が、また、東関東吹奏楽コンクール高校A部門に十九年連続



合唱と吹奏楽のコラボレーションによって白熱するステージ

出場を果たしている吹奏楽部の演奏の後、合唱と吹奏楽による恒例の「空より高く」が演奏され、幕を閉じました。

さらに終演後、音楽科卒業生による懇親会が今年も行われ、懐かしい顔ぶれが大勢集まり、旧交を温めるとともに来年の再会を約束し、充実した音楽の一日が終わりました。

閉校式では、達成感から大きな声で校歌を歌っていた生徒たちも見られました。体調を崩す生徒も出ず、学年目標であった「挨拶励行」「時間厳守」「責任を果たす」といった三項目にも十分成果が見られました。

附属小学校

異学年で力を合わせる遠足 深まる「明和班」の絆

九月二十九日(水)、全校児童を対象に水元公園(東京都葛飾区)で遠足を実施しました。水元公園は、小合溜に沿ってつくりられ、水郷の景観から身近に四季が感じられる公園です。

この遠足は、附属小の特徴でもある「明和班(縦割り班)」でのオリエンテーリングが



活動の中心です。一年生から六年生までを含む十人ほどのグループで、六年生を先頭に地図を見ながらポイントを探します。自然に関するクイズなど十のポイントがあり、力を合わせて進んでいきます。

途中で道に迷ったり、一年生が疲れたりしたとき、そんなときこそチームワークの見せどころとなります。うまくまとまる班や苦戦する班など、結果はさまざまでしたが、それぞれの班にとって、異年齢のふれあいはとても貴重な体験となりました。

明和班のメンバーは、毎日昼に会食を食べ、普段から共に過ごしています。また、交流会や清掃なども定期的に行っています。こうして培われた明和班の絆は、この全校遠足を通してまた一段と深まりました。

多彩な発表で今年も観客を圧倒

開校二十五周年記念 第二十五回 聖徳祭

十月十七日(日)、「つみあげよう ひろげよう ほくたち・わたくしたちの校風と伝統を」をスローガンに、全校が一丸となって取り組んできた開校二十五周年記念の「第二十五回聖徳祭」が開催されました。来場者は



1年生による「ひょうたん池はおおさわぎ」の発表

およそ二千二百人にのぼり、舞台発表・展示発表・後援会主催によるレストランやおまつりひろば等、どれも大盛況となりました。

特に今年度は、開校二十五周年という節目の年であることから、原点に戻り、「日本人の心を伝えよう」をテーマに、全校合奏も新曲「日本のふるさと」に挑戦しました。舞台発表も、「昔話」「国語教材」「古典」「和太鼓



体育館で建学の精神「和」を掲げる児童たち

と、和の心を感じさせるものが多く発表されました。

初参加の一年生の保護者の方からは、「入学してから半年で、一年生全員の舞台発表があれほどまとまり、一人ひとりが自分の役割をきちんと果たしている姿に涙が出ました。また、上級生の舞台もまとまりがあり、力強さや優しさ、そして和の心を大切にしている学校の精神を改めて実感しました。」児童たちのきらきらと輝いた瞳。みんなで心を一つにして頑張る姿。そんな発表を見て勇気ももらいました」という感想が聞かれました。児童たちの底知れぬパワーを再確認させてくれる聖徳祭となりました。

日々の生活の中で園児たちは、園児同士でのかかわりから豊かな経験を育んでいます。さらに、教師と園児の関係、親子の関係など、たくさんの人とのかわりから生活が成り立っています。地域で働く人がいるおかげで、自分たちの生活が送れるということを、園児が理解できるように話をしたり、絵本を通して伝えています。

そして、実体験として田町駅、三田駅、三田警察、芝消防署、高輪郵便局、銀行などを訪ねて、感謝の気持ちなどを言葉で伝え、ささやかながら手作りのプレゼントを

渡しています(今年は、十一月の中旬から二十四日(水)にかけてさまざまな職場を訪問しました)。園児からは「働いている人は」プレゼントをもらってありがとうで、(僕たちは)お仕事してくれてありがとうでございますね」と、感謝の気持ちが理解できたと思われ、言葉も聞かれます。

園内では、園長先生、事務の方々、バスの運転手さん、給食を作る栄養士の先生、そして、毎日生活を共にしている担任の先生に対して、感謝の集



芝消防署の消防士さんへプレゼントを渡す園児代表

幼稚園短信

三田幼稚園
勤労感謝の日を通して
ありがとうが溢れますの心

いを開いています。人へ感謝することが忘れられ、「何かをしてくれて当たり前」とされる世の中ですが、人のために優しくすることを惜しまず、また、優しくされた時も「ありがとうございます」の言葉が心から自然に出るよう、まずは身近にいる教員がその心を常に持ち、園児たちにも根付かせていきたいと考えています。



大豊作のサツマイモに、笑みがこぼれる生徒たち

八王子中央幼稚園

もちつき会
「お米がおもちに大変身」

十二月に毎年、幼稚園園庭にて「もちつき会」が行われます(今年は、十二月三日(金)に実施します)。登園した園児たちは、園庭に置いた臼の周りに集まり、もち米が炊きあがるまで「もちつき」の歌を歌ったり、臼や杵の話の聞いたりしています。炊きあがると、その香りをかいで、臼の中に入れて



重い杵を元気いっぱい持ちあげる園児たち

もちつき会では、年間を通して計三回の保育参観が行われます。各クラスの特徴も出てきた二学期、十一月中旬の保育参観では、保護者の方々は一学期とは異なるお子様の姿を実際に目で見て、ふれあひながら感じます(今年は十一月九日(火)・十一日(木)に実施しました)。

多摩中央幼稚園

二学期の保育参観
「日々の成長を発表します」

この経験を生かして、保育室ではかごや小さな靴を腕にかけ、その中に果物や野菜

園庭で年長組はド



保護者の方と元気に遊ぶ園児たち

園庭で年長組はド

附属第二幼稚園

葛西臨海水族園遠足
「お魚博士になりました」

十月八日(金)、年長組は葛西臨海水族園(東京都江戸川区)への遠足を実施しました。昨年は新型インフルエンザが流行し、目的の変更したため、二年ぶりの水族園となりました。事前に見たり、図鑑を通して海



水槽の中の幻想的な世界に目を奪われる園児たち

水族園内では、公衆道徳を守り、友達と手をつないで世界中の海に住んでいるさまざまな種類の生き物を見て回り、変わった動きをする生き物や色とりどりの魚たちに感動し、食い入るように見ていました。ビデオや図鑑ではなく、実際に驚きや発見がありました。



坂田ヶ池の水鳥に手を振る園児たち

園庭で年長組はド

園庭で年長組はド

園庭で年長組はド

附属第三幼稚園

坂田ヶ池公園への遠足
「秋の自然を満喫」

十月二十七日(水)、年長組の園児が、坂田ヶ池総合公園(千葉県成田市)へ遠足

園庭で年長組はド

園庭で年長組はド

園庭で年長組はド

附属浦安幼稚園

子育て支援講座
「行事を知って、子どもに伝える」



期待いっぱいの入場前の園児たち

今年度の「親学講座」は、十月から来年二月までに計四回実施されます。この講座は、「教育の原点は家庭にあり、子どもが人生で初めて出会う教師は親である」ということをふまえて、聖徳大学の四つの附属幼稚園が子育て支援を目的として、全園児の保護者の方を対象に行っています。

園庭で年長組はド

園庭で年長組はド

園庭で年長組はド



ユーモアを交えながら、熱弁をふるう神谷准教授

平成22年度 入試日程

聖徳大学大学院通学課程 [共学/昼・夜開講] <博士後期課程>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間(必着), 入試日. Includes general and social science admissions.

<博士前期課程>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間(必着), 入試日. Includes general and social science admissions.

<専門職学位課程>(教職研究科)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間(必着), 入試日. Includes internal recommendation and social science admissions.

聖徳大学児童学部(女子)・人文学部(女子)・人間栄養学部(女子) 音楽学部(女子)・聖徳大学短期大学部(女子)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間(必着), 入試日. Includes AO, general, and special admissions for various departments.

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間(必着), 入試日. Includes general and center exam admissions for various departments.

聖徳大学児童学部(女子)・人文学部(女子)・音楽学部(女子)編入学、聖徳大学短期大学部専攻科(女子)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間(必着), 入試日. Includes internal recommendation and social science admissions.

聖徳大学幼児教育専門学校(女子) <前期・後期入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes AO and general admissions for the preschool education school.

聖徳大学附属女子中学校・高等学校

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Includes admission details for the affiliated girls' middle and high schools.

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Includes admission details for the affiliated Tsukuba girls' middle and high schools.

聖徳大学附属小学校(共学)

Table with columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Includes admission details for the affiliated elementary school.

聖徳大学(女子)・聖徳大学短期大学部(女子) ●お問い合わせ:0120-66-5531. Includes a photo of a student and text about campus tours and open campus events.

通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学) ●お問い合わせ:047-365-1200(直通). Includes information about university and short-term university enrollment.

平成22年度 冬期 SOA 公開講座のご案内. Includes a list of lecture topics such as 'ショパン、心のときめき' and '現場実践から学ぶ! 心の病と精神障がいへの支援'.

読者の声. Includes contact information for the magazine and a survey link: http://www.seitoku.jp/gakuen/flash/.

学校法人 東京聖徳学園. Includes address, phone number, and logo information.

聖徳大学幼児教育専門学校(女子) ●お問い合わせ:03-5476-8811(代). Includes information about admission consultations and events.

信州春日温泉 かすが荘. Includes pricing for general, students, and graduates, and contact information: TEL.0267-52-2111.

日本蜜蜂のハチミツ. Includes a photo of a honey stand and text about honey products and the festival.

特別展覧会 「没後110年ツールズ=ロートレック」展. Includes information about the exhibition of Rodin's works and the date: 2011年3月31日(木)まで.